

東北大学金属材料研究所 国際会議共催、後援申請書	
<p>要項：金属材料研究所教員が組織委員として、企画運営する国際会議に対して東北大学金属材料研究所からの共催、後援が必要な場合は、以下の項目に沿って、国際共同研究センター（ICC-IMR）まで申し込んで下さい。審議の上、可否を決定します。共催に関しては、教授会報告、承認事項となりますので、月初めに申し込んだ場合、2ヶ月を要します。</p>	
<p>●共催もしくは後援どちらかに希望する方にチェックして下さい。</p> <p><input type="checkbox"/> 1 共催 <input type="checkbox"/> 2 後援</p>	
<p>1-A. 共催の要件 下記の項目全てを確認して、チェックして下さい。</p>	
<input type="checkbox"/>	自由な学術的な交流を通して、学術の発展と国際交流に寄与する会合であること
<input type="checkbox"/>	参加を希望者が要項に従って自由に参加出来、研究上の立場等によって区別されないこと
<input type="checkbox"/>	学会等の定期的な会合の場合は、金属材料研究所の教員が、参加費等において会員と同等の便宜を受けられること
<input type="checkbox"/>	専ら特定の団体の運営、利益等を目的とする、あるいは営利目的の会合でないこと
<input type="checkbox"/>	会議の要項、議事録、会計報告、開催報告の提供が適切な形でなされること
<input type="checkbox"/>	会議の参加者に関して、参加国別の人数等の参加者に関わる統計的な情報を提供すること
<input type="checkbox"/>	金属材料研究所の教員が組織委員として、運営に責任を持って関与できる立場にあること
<p>1-B. 共催が承認された場合、以下の便宜を提供することが可能である。便宜を希望する項目にチェックして下さい。</p> <p>*ただし、これらの便宜は、金研の業務に差し支えない範囲で提供されるものとし、問題が生じた場合は、金研として提供を断ることが出来るものとする。また、生じる費用は会議運営者が適切に負担するものとする。</p>	
<input type="checkbox"/>	ICC-IMRの国際会議開催支援費の申請
<input type="checkbox"/>	金研ホームページ、所内メーリングリストを利用した案内
<input type="checkbox"/>	金研のサーバー等を利用した会議のホームページやメールリストの運用
<input type="checkbox"/>	会議の事務局を金研に設置し、郵便等の連絡先とすること(大量の文書の受け入れは不可)
<input type="checkbox"/>	金研および東北大学の施設利用にあたっての使用料の減免(東北大学および金研の関連規定に従うこととする)
<p>2-A. 後援の要件 下記の項目全てを確認して、チェックして下さい。</p>	
<input type="checkbox"/>	自由な学術的な交流を通して、学術の発展と国際交流に寄与する会合であること
<input type="checkbox"/>	参加を希望者が要項に従って自由に参加出来、研究上の立場等によって区別されないこと
<input type="checkbox"/>	専ら特定の団体の運営、利益等を目的とする、あるいは営利目的の会合でないこと
<input type="checkbox"/>	会議の要項、議事録、会計報告、開催報告の提供が適切な形でなされること
<input type="checkbox"/>	会議の参加者に関して、参加国別の人数等の参加者に関わる統計的な情報を提供すること
<p>2-B. 後援が承認された場合、以下の便宜を提供することが可能である。便宜を希望する項目にチェックして下さい。</p> <p>*ただし、これらの便宜は、金研の業務に差し支えない範囲で提供されるものとし、問題が生じた場合は、金研として提供を断ることが出来るものとする。また、生じる費用は会議運営者が適切に負担するものとする。</p>	

<input type="checkbox"/>	金研ホームページ、所内メーリングリストを利用した案内
<input type="checkbox"/>	金研のサーバー等を利用した会議のホームページやメールリストの運用
<input type="checkbox"/>	会議の事務局を金研に設置し、郵便等の連絡先とすること(大量の文書の受け入れは不可)
<p>3. 共催、後援の申し込みにあたっては、以下の項目を記入してください。あるいは下記の内容を含む他に提出した申請書(書式自由)でも構いません。</p>	
<p>申請者名(所内の教員であること)： (所属及び氏名)</p>	
<p>会議名(英語)：</p>	
<p>開催日および開催場所：</p>	
<p>会議ホームページ URL およびその主なページの写し：</p> <p>URL：</p>	
<p>参加費(金研の参加者の取扱を明記)：</p>	
<p>予算計画：</p>	
<p>参加予定人数、参加予定国：</p>	
<p>これまでの開催実績：</p>	
<p>会議の概要</p> <p>1) 会議の背景・経緯</p>	

(2) 学問的意義、目的

(3) 今回会議のメインテーマ 主要題目等

(4) 金研共催/後援による効果

(5) 出版等

東北大の施設を利用する場合：展示等の収入を得る活動の有無、有りの場合その概要

1st circular 等の添付書類

4. 金研からの財政支援を申請する場合は Form2B も記入、提出のこと。

(ただし、金研または仙台近郊開催に限る)